

# 都市自治体の森林政策に 関する研究会概要 (事務局案)

2022年5月

第1回 都市自治体の森林政策に関する研究会

(公財) 日本都市センター 研究員 田中洸次

# 概要の構成

1. 研究会の趣旨
2. 論点案
3. 調査研究の進め方
4. 成果物について

# 研究会の趣旨①

## 1. 森林の現状と都市自治体の課題

### ①手入れされない森林の要因

森林の経済的価値の低下、森林を有する地域の過疎化・高齢化、森林組合や林業事業体の財政基盤・人手不足、森林情報の不足、NPOやボランティア等が活動する際の制約 など

### ②都市自治体の課題

業務量の増大、人材の不足、都市自治体内の山村地域と都市部の格差、森林経営管理制度や森林環境譲与税による都市自治体の森林管理の責任増大、森林環境譲与税の使途 など

- 長年の木材価格低迷、少子高齢化等により管理されない森林が全国に点在しており、加えて森林境界や所有者の情報不足、林業の担い手不足等の様々な課題を抱えている。
- 多くの都市自治体は、人員や専門技術の確保や新しい業務への対応に苦慮している。一方、独自の森林政策を講じる都市自治体もある。

# 研究会の趣旨②

## 2. 近年の森林・林業に係る状況変化

### ①森林、林業をめぐる状況

- ・森林資源の蓄積
- ・立木価格の下げ止まり
- ・再生可能エネルギーの拡大による燃料需要増
- ・CLT等の新しい工法の広がり、木材利用促進法の施行
- ・働き方としての林業への注目（自伐型林業、地域協力隊など）
- ・里山活動や木育など都市側のニーズによる森林への関与
- ・脱炭素化への取組み、持続可能な地域づくり等での森林への社会的な期待 など

→全国的人工林の多くが伐採適齢期に差し掛かり、多様化する市民ニーズや気候変動対策・地域振興等で森林・林業への注目が高まっている。

## 研究会の趣旨③

- ① 森林は水源涵養や防災、生物多様性の保全等の多面的機能を有しており、二酸化炭素吸収源や林産物の利用を通じた地域経済・エネルギーへの貢献等において重要な役割を有している。
  - ② 都市自治体の重要政策課題である、気候変動対策や地域振興等とも森林・林業は関係が深い。一方で、森林管理について長年の課題を抱えている地域も多い。
  - ③ 脱炭素や森林環境税等によって、森林管理に社会的注目がさらに集まることが予想される現在、都市自治体は、人員や専門性の確保や庁外との連携等の課題を抱えながらも、森林政策を推進することが求められている。
- 先進事例等を踏まえて、施策の要点、担い手支援・連携や行政の体制構築などの検討を行い、都市自治体の森林政策の立案や施策の実施に向けた知見を得ることを目的とする。

# 論点案

## (1) 森林の現状と都市自治体に取り組む森林管理の意義(論点1)

- ・森林の現状、都市自治体の現状と課題
- ・都市自治体による森林政策の意義

## (2) 都市自治体の取組みに関する検討(論点2)

- ・地域の森林・林業に係る現状把握及び森林・林業関係者や市民との将来像の共有
- ・地域経済循環や脱炭素化への森林の位置づけ、都市・山村のニーズ・資源等の活用
- ・森林組合やNPO等への支援・連携
- ・都市自治体の体制(組織、人材、専門性、自治体連携・役割分担)

## (3) 今後の都市自治体の森林政策のあり方(論点3)

- ・森林政策の立案・展開の方向性
- ・都市自治体の特徴(規模、樹種、産業、歴史等)に応じた政策展開

# 調査手法・成果物

## 【調査手法】

### ①研究会での意見交換

研究会委員からの話題提供  
ゲストスピーカーの招へい

### ②先進自治体・関係機関等へのヒアリング調査

## 【成果物】

本調査研究の成果をまとめ、2023年3月に報告書を刊行予定

# スケジュール(案)

日程	事項	内容
5月26日(木)	第1回研究会	顔合わせ、研究会の進め方、論点、ヒアリング調査先、ゲストスピーカーの検討
6月30日(木)(予定)	第2回研究会	座長・委員からの話題提供
9月	第3回研究会	ゲストスピーカーからの話題提供、ヒアリング調査報告
10月	第4回研究会	報告書の全体構成・執筆分担の検討、ヒアリング調査報告
12月	第5回(最終)研究会	報告書原稿読み合わせ
2023年 1月	原稿締切り	
2023年 3月	報告書刊行	